

各 位

上場会社名 キムラユニティ株式会社  
 代表者 代表取締役社長 木村 昭二  
 (コード番号 9368)  
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 小山 幸弘  
 (TEL 052-962-7053)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年10月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	49,000	1,730	1,980	1,150	95.29
今回修正予想(B)	48,850	1,540	1,720	840	69.60
増減額(B-A)	△150	△190	△260	△310	
増減率(%)	△0.3	△11.0	△13.1	△27.0	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	46,983	1,711	1,963	1,042	86.39

平成30年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	38,500	1,130	1,320	880	72.92
今回修正予想(B)	39,000	1,050	1,440	940	77.89
増減額(B-A)	500	△80	120	60	
増減率(%)	1.3	△7.1	9.1	6.8	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	36,689	1,164	1,469	1,193	98.88

#### 修正の理由

当連結会計年度におけるわが国の経済は、国内の個人消費の伸び悩み、米国の政策運営への懸念や東アジア・中東の地政学リスクの高まり等の下振れ懸念がある一方、政府や日銀の各種政策等を背景に、雇用環境の改善や堅調な外需に支えられるなど、緩やかな回復基調で推移しました。

このような環境の中、売上面はまだら模様であります。ほぼ予算並みで推移しました。

一方、利益面において、個別業績では、営業利益は微減、経常利益と当期純利益は増益を見込むものの、連結業績では、北米子会社における格納器具製品事業の急激な生産増加による生産性の悪化や国内における自動車サービス事業の外注費の増加等の影響により、各利益において総じて減益の見込みとなりました。特に、親会社株主に帰属する当期純利益は、法人税調整額の増加等の影響もあり、減益の見込みとなりました。

以上のことから、平成29年10月13日に公表した通期の業績数値を修正するものであります。

(注)上記の業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により異なる可能性があります。